



ちゅら風通信

編集/VAG(The volunteer activity group)ちゅら風通信編集委員 〒905-8585 名護市為又1220-1 Tel0980-51-1116

第1回海外スタディ・ツアー

平成 25 年 9 月 7 日～16 日にかけて第 1 回看護学科海外スタディ・ツアーが行われました。研修地はタイ王国(タイ東北部：ウボンラーチャターニー県)で、学生 16 名、教員 3 名が参加し現地での交流や研修に励みました。

主な研修内容は、ケマラート郡病院見学、県病院訪問、HIV陽性者自助グループの定例会への参加、看護教育機関を訪問、看護学生との交流、タイ王国との文化交流、ホームステイ等です。ツアーへ参加した学生は、国際看護活動の実際を学ぶ貴重な体験だったと語っていました。



今回のスタディ・ツアーでは、沢山の先生方のサポートのおかげで、私たち 16 人は 10 日間、一生忘れられない充実した毎日を過ごすことができました。4 年生は全ての実習を終えているため、実習で得た知識や経験を活かして、日本の医療と比較しながら現地の医療や生活の現状に刺激を受けました。私は、将来国際協力関係の仕事に携わりたいと思っていたので、このスタディ・ツアーを通して改めて国際協力の必要性を実感し、自分の目標を再確認することができました。支えて下さった多くの方々へ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

4 年次 宮國 優 (普天間高校出身)

今回のスタディ・ツアーで、タイの保健医療や文化について学びました。タイでは医療格差が大きくそれぞれのレベルでの医療の現状と課題を肌で感じることができました。また、ホームステイでは異文化体験もすることができ「人の優しさ・温かさ」の本当の意味を知った気がします。今回感じた人の温かさを忘れずに看護を行っていきたくです。最後にこのような場を設けてくださった多くの関係者の皆様に心から感謝します。私たちにできることは、これからもっと学びを深めてみんなと共有することだと考えます。そして将来の日本や世界の医療のために役立てていきたいと思ひます。

2 年次 山崎里佳 (熊本県出身)

Study Tour in Thailand !

タイの保健福祉の現状として地域・県の保健施設、郡・県・私立単位の病院や、看護学校の見学、各訪問先での交流会へ参加しました。先々で、日本との違いやタイ日両方の課題などを考える貴重な機会となりました。異文化交流のためのホームステイでは、地方の小さな村で家族の一員として 3 日間を過ごしました。言葉の壁を痛感しながらも、歓送迎の儀式で村の人々から盛大な歓迎を受け、涙がこぼれるほどの優しさ、温かさを学生全員が感じていました。上手く整理できない程、多くのことを感じ、学んだ約 10 日間でした。その体験をこれからの糧にして、さらに学んでいきたいです。

3 年次 浜尾千春 (東京都出身)



コオロギのから揚げ・・・実はおいしいことを発見！

タイの看護学生と交流！
สวัสดีค่ะ (こんにちは)
เราเป็นเพื่อนกัน นะ ค่ะ
(私たちは友だちです)

